

令和 6 年度

事業報告

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
多機能事業所ループ	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
多機能事業所ループ奏	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
生活介護事業所さつき	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
生活介護事業所まつぼっくり	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
放課後等デイサービス事業所あざみ	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
日中一時支援事業所あるば	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
はまきた地域活動支援センター	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
特定相談支援事業所ぼるた	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
事業報告書の付属明細書	・・・・・・・・・・・・・・・・	29

● 令和 6 年度 事業報告（法人全体）

はじめに（総括）

令和 6 年度は、コロナ禍の影響が落ち着き、地域交流を再開・活性化する重要な一年となりました。障がい福祉サービスにおいても、支援の充実とともに、地域とのつながりを深めることの重要性が改めて認識されました。

特に、当法人の大きなイベントのひとつである「照個屋」を、事業所敷地外の浜名区役所前広場にて盛況に開催できたことは、法人の基本理念である「みんなが生き生きと暮らす街に」を改めて職員一同感じられる機会となりました。実際にこれまで以上に多くの地域の方々や関係者の皆様にご参加いただき、障がいを持つ方々と地域社会との結びつきを強化する貴重な機会となりました。本イベントを通じて、地域の皆様と交流できたことは、私たちの法人にとっても大きな成果です。

また、今年度は障がい福祉サービスの報酬改定を受け、職員の処遇改善とサービスの質の向上に向けた取り組みも進めてまいりました。障がいがあるの方々がより自立し、地域で安心して暮らせる環境づくりに努めることが、私たちの使命であることを改めて認識しております。

これからも、地域との協力を深め、障がい福祉サービスのさらなる充実を目指し、利用者の皆様が豊かな生活を送ることができるよう努めてまいります。令和 7 年度も、職員一同、皆様とともに歩みを進めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。（理事長 伊藤基久）

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

今年度特に改めての取り組みはありませんでしたが、職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、例年通り写真を差し込むなどしてポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示してあります。あわせて、年度当初の事業計画でも「地域」をより強く意識していけるよう、各事業所の重点目標に地域とのつながりを進めていくための具体的取り組みを掲げてそれぞれの活動を行いました。

II 令和 6 年度スローガン 倫理綱領・行動規範を読み込み、支援の自己点検をしよう 総括

いつでも携行できるよう、名刺サイズのコンパクト冊子を作成し、名札入れに入れられるようにし常に確認できるような工夫をしました。実際の効果測定・検証までには至っていませんが、まずは全職員に倫理綱領が設置されていることの認知を図る意味では有効であったと考えます。次年度以降で次の段階として、内容についての理解・解釈の促進を進めていきたいと思います。

III 重点取組項目 総括

1 組織の再編とガバナンス再構築

新組織図での稼働初年度となりましたが、以前と比べ有効に機能した部分もありながら、不整合ややりにくさなど課題も明らかになりました。一方で新組織に対応したキャリアパスの要件等を更新し、令和 7 年度

からの運用とする準備は完了しました。加えて、キャリアパスと紐づける形の人事考課制度の一部改変、評価項目の一新にも着手し、同様に令和7年度の運用開始とする見通しを立てることができました。

2 IT活用によるバックオフィスの省力化、効率化の実現

労務の面では、新しい勤怠管理システムの本格運用を開始し、年度の終盤にはかなり浸透は進み、これまでと比べて勤怠の管理については工数を減らすことができ、効率化を実現できたと思います。他方、特に経理事務については事務局集約型に再編しましたが、課題が多く残りました。例年通り滞りなく業務遂行はできたものの、省力化・効率化と直結する仕組み作りまでは至れませんでした。

3 人材育成に向けた取り組み

キャリアパスの更新は、予定通り進めることができました。令和7年度から運用を開始します。また、Eラーニングのシステムを導入しました。今後に向けてはこのシステムを活用し、階層別研修をパッケージにし、キャリアパスに組み込み、自己学習を促す仕組みを構築していきます。

4 相談支援センターへの職員派遣と、自立支援協議会への積極的関与

今年度から浜松市全体の障がい者相談支援事業エリア再編に伴い、浜北センターと天竜センターへそれぞれ1名ずつ、計2名派遣しています。自立支援協議会への参画については、特に事業所所在地である浜北エリアの自立支援連絡会中心に様々な立場で積極的に参画できたと思います。今後も相談支援専門員、サビ児管中心に構成員の主体者を担いながら、その動向を法人全体で共有できる仕組みを丁寧に考えていきます。

IV 事業内容と利用者実績

事業名	定員	目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標 達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援（ライム）	6	1.0	0.1	10.0%	0.0%
就労継続B型（ライム・なないろカフェ）	24	23.0	22.1	96.1%	92.1%
生活介護（さつき）	20	19.0	19.0	95.0%	95.0%
生活介護（まつぼっくり）	20	13.0	9.7	74.6%	48.5%
生活介護（るるる）	10	10.0	8.9	89.0%	89.0%
就労継続B型（ららら）	10	9.0	8.6	86.0%	86.0%
放課後等デイサービス	10	10.0	8.8	88.0%	88.0%
日中一時支援	7	4.5	3.5	77.8%	50.0%
地域活動支援センター	(20)	11.0	9.4	85.5%	—
特定相談	—	60.0	58.2	97.0%	—
浜松市障害者相談支援事業	※浜北・天竜障がい者相談支援センターへ相談員派遣				

V 職員体制

() 内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ		多機能事業所ループ奏		生活介護	生活介護
	就労移行	継続 B 型	生活介護	継続 B 型	さつき	まつぼっくり
管理者	1	(1)	1	(1)	1 (1)	1 (1)
サービス管理責任者	1	(1)	1	(1)	1 (1)	1 (1)
就労支援員	1(1)	—	—	—		—
生活支援員/職業指導員	0.7(0.1)	3.7(2.2)	—	1.5(1.4)		2.8 (2.1)
生活支援員			4.0(2.0)		7.3(3.7)	5.0 (2.7)
目標工賃達成指導員	—	1.2(1.0)	—	1.3(1.0)		—
合計	1.7(1.1)	4.9(3.2)	4.0(2.0)	2.8(2.4)	7.3(3.7)	5.0 (2.7)

放課後デイサービスあざみ	
管理者（兼務）	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員	5 (2)

特定相談ぼるた	
管理者（兼務）	1 (1)
相談支援専門員	2 (2)
事務担当	1 (0.6)
浜松市障がい者相談センター	
相談員派遣	2 (2)

地域活動支援センター	
管理者（兼務）	1 (1)
活動支援員	3 (3)
日中一時支援あるば	
管理者(兼務)	1 (1)
児童指導員	3

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

() 内は、令和 6 年度当初予算

単位：千円

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	293,292 (278,466)	264,554 (256,650)	28,738 (21,816)
施設整備等による収支	20 (0)	16,999 (13,686)	△16,979 (△13,686)
その他の活動による収支	24,677 (0)	24,886 (373)	△209 (△373)
当期資金収支差額	—	—	11,550 (7,156)

2 資産・負債の推移

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5・6年度対比
流動資産	113,984	127,023	131,142	4,119
固定資産	284,215	288,311	291,967	3,656
資産合計	398,199	415,334	423,109	7,775
流動負債	34,720	42,823	35,532	△7,219
固定負債	137,143	123,513	110,325	△13,888
負債合計	171,864	166,337	145,857	△20,480
純資産	226,336	248,997	277,252	28,255

VII 寄付金、補助金、助成金の状況

寄付金、寄付物品		
計 10 件	1,343,410 円	※すべて、理事長決裁で受領 ※物品…車いす1台、スノーブレンー式
補助金		
静岡県	561,652 円	福祉・介護職員臨時特例交付金
浜松市	39,000 円	物価高騰対策助成事業
助成金		
活木活木森ネットワーク	326,000 円	借入金金利分助成（本部拠点静岡銀行分）

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額（円）	詳細	財源
本部拠点	固定資産	238,080	あざみ活動室エアコン取り換え	自己資金
	固定資産	585,385	西面敷地フェンス設置工事	自己資金
さつき	固定資産	440,000	クッキー用オープン購入	自己資金
ループ、ループ奏、まつぼっくり なし				

IX 借入金及び借入金償還実績

借入先	当期償還額(円)	利息(円)	利息補給(円)	当期末残高(円)	使途
福祉医療機構	6,072,000	564,817	0	56,166,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	4,134,000	350,448	326,000	14,296,000	
静岡銀行	3,770,000	438,999	0	50,050,000	ループ奏新築工事

X 生産活動

ループ	項目	実績値 (円)	計画値 (円)	目標達成率
	弁当	19,337,371	18,000,000	107.4%
	喫茶 (なないろカフェ)	6,288,452	6,000,000	104.8%
	下請け、他	2,367,084	2,000,000	118.4%
	計	27,992,907	26,000,000	107.7%
ループ奏	下請け	1,300,964	1,500,000	86.7%
	天竜高校購買部	665,065	2,200,000	30.2%
	ウェルフェアマート	164,864	50,000	329.7%
	計	2,130,893	3,700,000	57.5%
さつき	下請け	1,113,248	1,100,000	101.2%
	おからクッキー	1,308,809	1,300,000	100.6%
	計	2,422,057	2,400,000	100.9%
まつぼつ くり	パン・クッキー・ラスク	6,901,700	6,700,000	103.0%
	その他	3,260	5,000	65.2%
	計	6,904,960	6,705,000	103.0%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容	
5月27日(月) 第1回理事会 (定時理事会) 5月28日(火) 第2回理事会 (みなし決議) ※当日急な悪天候により 急遽、法第96条の規定 に基づき、決議を省略 し、同意書・意見書によ るみなし決議にて決裁	議決事項	1、令和5年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、賃金規程の改定について 3、処遇改善加算金の支給に関する規程の変更について 4、処遇改善加算金の支給に関する規程の廃止について 5、役員賠償保険の加入について 6、評議員会付議事項について 7、理事の候補者の選定について
	報告事項	1、理事長業務執行報告 2、令和5年度福祉充実残額について 3、定款変更について 4、評議員選任・解任委員会報告、評議員選任報告
6月15日(土) 第3回理事会 (臨時理事会)	議決事項	1、理事長の選定について 2、業務執行理事の選定について
	報告事項	1、令和6年度第1回評議員会開催報告

11月26日（火） 第4回理事会 （定時理事会）	議決事項 1、令和6年度1次補正予算 2、まつぼっくり・さつき改築移転計画について 3、多機能事業所ループ 運営規程の変更について 報告事項 1、理事長業務執行報告 2、定期監事監査報告 3、生活介護事業所さつきの虐待通報に関する報告
3月16日（土） 第4回理事会 （定時理事会）	議決事項 1、令和6年度2次補正予算について 2、令和7年度事業計画について 3、令和7年度当初予算について 4、諸規程等の変更について （育児・介護休業等に関する規則、パートタイム職員就業規則、賃金規程、就業規則、人事考課規程、運営規程（ぼるた、あざみ）） 5、施設長の変更について 6、評議員会付議事項について 報告事項 1、理事長・業務執行理事業務執行報告 2、まつぼっくり・さつきの施設整備計画の進捗について 3、社会福祉施設等の指導監査の実施結果について

2 評議員会

日時・回	内容
6月15日（土） 第1回評議員会	議決事項 1、令和5年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事の選任について 3、役員及び評議員等の報酬に関する規程の変更について 報告事項 1、令和5年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について 3、定款の変更について 4、規程の変更について
3月28日（木） 第2回評議員会	議決事項 なし 報告事項 1、令和6年度第2次補正予算について 2、令和7年度事業計画について 3、令和7年度当初予算について 4、規程の変更について 5、まつぼっくり・さつきの施設整備の進捗について 6、社会福祉施設等の指導監査の実施結果について

3 経営会議

日時・回	内容
7月31日（水） 第1回	1、経営会議の在り方について 2、月次報告 3、9月以降の人員体制について
8月28日（水） 第2回	1、経営会議の在り方について 2、月次報告 3、収支状況と現状の把握 4、次年度人員体制について
10月31日（木） 第3回	1、月次報告 2、年間休日の再設定、固定残業制度の導入について 3、一次補正予算について
11月19日（火） 第4回	1、月次報告 2、理事会の議題等について 3、勤怠管理システム導入に伴う時短勤務者の労務管理の整備について 4、組織再編の伴うキャリアパスの要件の見直しについて
1月15日（水） 第5回	1、月次報告 2、法人監査への準備について 3、職員貸与PCの状況整理と次年度不足台数の把握 4、次年度の人員体制について
2月26日（水） 第6回	1、月次報告 2、次年度の休日・開所日の設定について 3、今年度の処遇改善手当一時金の支給について 4、二次補正予算について 5、次年度人員体制について

4 施設長会議

日時・回	内容
4月4日（木） 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、事業所の事故・物損等の取扱いについて 4、体制届の作成について 5、職務分掌について 6、職員のメンタルヘルスについて 7、マナーフォワード勤怠について 8、赤い羽根助成事業について 9、職員の個別年間目標設定について 10、challenge to インクルーシブ in 浜松 2024 への参加・出店について
5月7日（火） 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、challenge to インクルーシブ in 浜松 2024 への参加・出店について 4、ふれあいコンサートについて 5、事業所フェアについて 6、飛竜まつりについて 7、浜松未来総合専門学校とのコラボPJについて 8、山下理事長退任慰労会について 9、シフト表の作成について
6月4日（火） 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、ネットワーク拡大応援制度について 4、理事長交代における今後のスケジュールについて 5、Welfare mart 事業開始について 6、制度改正における個別支援計画について 7、まつぼっくり・さつきの施設整備計画について

7月5日（金） 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、Spesial learning システム導入について 4、山下前理事長の退任慰労会について 5、9月からの人員体制について 6、キャリアパスの要件の更新と職務分掌表について 7、検便について 8、事業所フェアについて 9、施設長の残業の扱いについて 10、まつぼっくり・さつきの施設整備計画進捗報告
8月5日（月） 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人員体制について（採用活動進捗共有） 4、山下前理事長の退任慰労会について 5、虐待防止研修について 6、事業所フェア参加報告 7、さつき虐待通報について
9月6日（月） 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人員体制について 4、10月からの最低賃金額変更に伴う時給設定の変更について 5、人事考課制度・キャリアパスの要件のリニューアルについて 6、虐待通報についての経過報告 7、虐待防止研修について
10月7日（月） 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、虐待防止研修の振り返り 4、復泉会地域交流パーティーへの参加について 5、浜松未来総合専門学校とのコラボPJ進捗報告 6、照個屋について
11月5日（火） 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、強行支援のスキルアップについて 4、キャリアパスの要件の更新の確定について 5、人事考課制度のリニューアルについて 6、Spesial learning 導入について 7、理事会について 8、照個屋について
12月2日（月） 第9回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人事考課制度のリニューアルについて 4、感染症対策の指針について 5、浜名高校購買部販売について
1月24日（水） 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、静岡県社協 教員免許取得のための介護等体験事業（協力依頼）について 4、浜名高校購買部販売について 5、メンター制度導入検討について 6、次年度人員体制について
2月3日（月） 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、浜名高購買部販売について 4、ABC しあわせ基金による車輛寄贈について 5、自動車総連寄付の受理について 6、メンター制度導入検討について 7、次年度人員体制について
3月3日（月） 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度体制の確定 4、各規程変更に伴う書類提出の確認 5、感染症対策、身体拘束の適正化研修報告について 6、法人全体会議について 7、浜名高校購買部販売について 8、R7年度事業計画書の作成について

5 法人全体会議

日時・回	内容
6月19日（水） 第1回	1、理事会報告(決算報告) 2、定款変更について 3、各種規程の変更について 4、ネットワーク拡大応援制度について 5、防災に関するミニ講座
12月18日（水） 第2回	1、理事会報告 2、年間休日の変更・固定残業代制度の導入について 3、Sラーニング委員会より
3月26日（水） 第3回	1、理事会報告 2、固定残業代制度の詳細と運用について 3、年間休日の変更について 4、人事考課制度の変更について 5、各協定代表者の選出について 6、社労士による育児・介護休業法改正のポイント、労使協定とは、ミニ講座

XII 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
研修	5/20、6/24、7/22、8/19、9/30、10/21、 11/11、12/9、1/20、2/10、3/10、4/14	・法人全体研修の企画・立案 ・法人内 GW の実施 ・外部研修報告動画作成 虐待防止、苦情解決
防災	5/14、6/11、7/9、8/6、9/11、10/8、 11/12、12/10、1/14、2/12、3/11、4/11	・安否確認システム ANPIC 導入 ・関係機関との災害時連携体制推進 ・事業継続計画（BCP）更新 ・防災研修実施
コンプライアンス	5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、 11/19、12/17、1/22、2/19、3/18	・ヒヤリハット報告の集計と検証 ・苦情解決についての実態把握 ・ストレスチェックの実施 ・車点検シートの作成 ・ほっとラインの運営
広報	4/18、5/16、6/20、7/18、8/22、9/19、 10/17、11/14、12/19、1/16、2/20、3/13	・みどりの樹つうしん作成・管理 ・つうしんリニューアル「わだち」立案、実施 ・名札の作成 ・HP 管理、更新
Sラーニング	5/6、6/6、7/25、8/8、9/12、10/10 11/28、12/26、1/9、1/30、2/27、 3/6	・お試し研修企画、実施 ・サポーターとの打合せ ・階層別研修立案のための動画確認
Mラーニング	4/30、5/23、6/27、8/29、9/19、10/31、 11/18、12/26、1/22、1/23、2/10、2/13、 2/27、3/8	・Mラーニング発表報告会の企画、準備 ・Mラーニングの取り組みのフォロー ・2/22 Mラーニング発表報告会運営
虐待防止	8/7、9/26 10/5 虐待防止研修開催	・虐待通報事案について ・通報、通報対応マニュアルの整備について
身体拘束の適正化	9/26	・指針の読み合わせ ・「防止」と「適正化」の使い分けの協議

XIII 研修実施・受講状況

1 内部研修

研修名	実施方法	実施日	参加者
虐待防止研修	参集（講義・演習）	10月5日	全職員
強度行動障害研修	先進取り組み事業所視察	1月（複数日）	9人
職員全体研修（事例検討会について）	参集（講義・演習）	2月25日	常勤職員
身体拘束等の適正化のための研修	動画視聴	3月4日～31日	全職員
感染症対策研修①②	動画視聴	3月4日～31日	全職員
法人全体会議時ミニ講座（防災、労務）	参集（講義）	6月、12月	常勤職員
階層別グループワーク	ミーティング形式	通年（計4回）	常勤職員
外部研修受講報告（権利擁護、苦情解決）	動画作成	—	全職員

2 外部研修受講状況（主要なものを抜粋して記載）

研修名	実施主体	参加者
相談支援従事者初任者研修	静岡県	1名
相談支援従事者現任研修	静岡県	2名
サービス管理責任者等実践研修	静岡県	3名
サービス管理責任者等更新研修	静岡県	2名
専門コース別研修（児童アドバンス）	静岡県	1名
医療的ケア児コーディネーター養成研修	静岡県	1名
精神障害者地域移行定着推進研修	静岡県	3名
地域生活拠点等の整備にかかわる研修	静岡県	4名
報酬改定を含めた制度改正に関する研修会	静岡県社会福祉協議会	4名
研修担当者意見交換会	静岡県社会福祉協議会	1名
障害福祉サービス苦情解決研修会	静岡県社会福祉協議会	2名
てんかん専門職セミナー	静岡県社会福祉協議会	1名
第9回静岡県児童発達支援・子どもフォーラム	静岡県知的障害者福祉協会	1名
精神障がいを理解するための研修会（基礎）	浜松市	1名
浜松市障がい者自立支援協議会構成員研修	浜松市	3名
ピアサポート交流会	浜松市	1名
作業所連合会・わ 施設長研修	特非）静岡県作業所連合会・わ	5名
作業所連合会・わ 西部地区職員研修	特非）静岡県作業所連合会・わ	5名
作業所学会	特非）静岡県作業所連合会・わ	4名
その他		

3 講習等受講状況

研修名	実施主体	参加者
初級パラスポーツ指導者養成講習	公財) 日本パラスポーツ協会	1 名
甲種防火管理新規講習	浜松市消防局	3 名
食品衛生責任者養成講習会	一社) 浜松市食品衛生協会	3 名

XIV 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
令和5年度決算監査	令和 6 年 5 月 17 日 (金) (指摘事項なし)	会計監査 : 山崎陽司 業務監査 : 遠山秀敏
令和6年度定期監査	令和 6 年 11 月 1 日 (金) (指摘事項なし)	事業計画進捗、ループ実地 業務監査 : 山崎陽司

XIV 地域における公益的取り組み

企画名：令和6年度 照個屋「絆」

と き：令和6年11月9日(土)

場 所：なゆた浜北ロータリー広場

内 容：地域交流イベント（ステージ、物販、ワークショップ）

来場者：約300人

本年度の「照個屋（てらこや）」は、「絆」をテーマに、なゆた浜北ロータリーにて開催しました。天候にも恵まれ、様々な世代の方々にお越しいただき、地域が自然に交わる一日となりました。

オープニングでは、浜松市立北浜中学校・竜神太鼓の力強い演奏が披露され、息の合ったバチさばきとリズムが会場全体を包み込み、来場者の心を惹きつけました。会場内には、浜名高校書道部による大看板も設置され、ダイナミックな筆づかいに足を止める方の姿が見られるなど、「静」と「動」の魅力が共存する空間となりました。また、浜松市出身のコメディアンやパフォーマーによるライブステージでは、地域ならではの話題に笑いが広がりました。近隣の福祉事業所による福製品の販売や、食欲をそそる香りに誘われるキッチンカーの出店も多数あり、買い物や食事を楽しむ姿が会場のあちこちで見受けられました。

また別に、日常的な地域支援活動として、ループ奏の一室を学習支援の会場として提供し、地域の子どもの学びを支える一翼を担っています。

社会福祉法人としての公益的な役割を地域とともに果たすうえで、今年度も意義深い活動をする事ができたと思います。今後も、誰もが安心してかかわれる地域づくりを目指し続けます。

XVI 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

4月10日	車の運転マナーについて（匿名）	4月11日 解決済	ループ（ライム）
4月23日	担当者変更について（ご本人）	5月20日 解決済	ぼるた
5月14日	授産製品の販売について（他法人職員）	7月6日 解決済	ぼるた
6月5日	職員の支援内容について（法人内職員）	7月1日日 解決済	さつき
7月29日	職員の支援内容について（ご本人）	8月5日 解決済	ループ奏
8月30日	職員の支援内容について（ご本人）	9月1日 解決済	はまきた地活
9月18日	職員の伝達について（他法人職員）	9月19日 解決済	照個屋実行委員
10月10日	下請け作業の内容について（下請け顧客）	12月20日 解決済	さつき
11月17日	送迎について（ご家族）	11月14日 解決済	あざみ
12月26日	会議の参加について（他事業所職員）	1月31日 解決済	委託相談
1月7日	異物混入について（授産製品購入者）	2月5日 解決済	まつぼっくり
1月17日	職員の支援内容について（ご本人）	1月29日 解決済	ぼるた
2月14日	職員の支援内容について（ご本人）	2月28日 解決済	ライム、ぼるた
2月26日	職員の支援内容について（ご家族）	2月26日 解決済	さつき
3月6日	広報誌の内容について（市議会議員）	3月6日 解決済	広報委員会
3月15日	連絡調整について（ヘルパー事業所職員）	3月17日 解決済	ループ奏
3月20日	職員の支援内容について（ご本人、ご家族）	3月20日 解決済	さつき

2 ヒヤリハット報告

レベル0	間違った事が実施される前に気づいた	105
レベル1	間違った事が実施されたが、利用者等には変化がなかった	354
レベル2	利用者等に変化が生じ、一時的な観察が必要となったが、治療・対処の必要がなかった	75
合計		534

3 事故報告

レベル3a	事故のため一時的な治療・対処が必要となった	13
レベル3b	事故のため継続的な治療・対処が必要になった	3
レベル4a	事故により長期にわたり治療・対処が続く	0
レベル4b	事故による障害が永続的に残った	0
レベル5	事故が死因となった	0
合計		16

● 多機能事業所ループ

I 総括

挑戦することの多い1年となりました。就労移行支援事業は、利用のニーズをいただかず、利用登録者ゼロの状態が続いています。一方で就労支援事業B型は、新規利用の問い合わせを多くいただき、定員の関係で利用を見合わせる、お断りするケースも複数あるという対照的な状況になっています。見学や体験利用を受け入れは、そういった状況をご説明しながら、積極的に行いました。昨年に続きイベントへの参加、出店が多くあり、障がい福祉の啓発活動の一環としてのイベントなど初めてのものにも多く参加しました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

就労移行支援

昨年度1月より利用者登録者が0になり、利用希望、登録なく1年が過ぎました。地域の状況は把握しておけるよう、会議や研修に参加し、利用希望者があった場合の準備をしました。雇用就労を目指すことだけではなく、自分の力・可能性を信じて就職したい、と自発的に思う気持ちづくりにも丁寧にかかわっていきたいと思います。

就労継続支援B型（ライム）

利用者一人ひとりが自分の作業として責任感を持つことができるよう、役割を割り当てたり、声掛けをしたりしました。利用者の積極性につながるよう、やりたい、やってみたいという思いを大切に取り組みました。

下請け作業では、納期を守り、安定した制度で作業に取り組むことを心がけました。利用者が取引先へ行き、自分の作業したものを自分の手で納品する機会も作りました。弁当事業では、様々なイベントへ参加し出店する機会が昨年度より増えました。またスーパーなどで米が品薄となったためか、ごはん入りの弁当の注文数が増え、新規顧客や問い合わせも増えました。作業場から調理場作業に挑戦する利用者も増え、弁当作りや洗い物作業を分担し取り組んでいます。新たな取り組みとして利用者の作品を生かした製品づくりに向けて刺繍タオルの試作にも取り組みました。

地域とのつながりについては、地域のイベントに参加することに加えて、事業所に地域の方々を招き、交流会を開催することで交流を深めることができました。

就労継続支援B型（なないろカフェ）

利用者のチャレンジ精神を大切に作業の幅を広げることができるよう取り組みました。ホールでの接客作業を中心に働いていた利用者が厨房に入り料理の仕込みや盛り付けに挑戦したり、ライム調理場で働いていた利用者がなないろカフェの配属となり、区役所への配達、厨房での作業に挑戦したり、利用者の「やってみたことがない、やってみたい」という気持ちを実現しました。作業の中で利用者同士アドバイスやフォローをしよう様子が見られ、仕事へのやりがいにつながっているように感じています。

SNS (Instagram) より、学校の長期休暇中の団体客等、利用予約や問い合わせが増え、新規顧客の獲得にもつながりました。また地域とのかかわりとして浜北図書館とのコラボ企画、浜名区にある放課後デイサービスとのおしごと体験企画等、新たな取り組みも行いました。

Ⅲ 行事、防災訓練実施等

4 月	なし
5 月	ホットケーキを作ろう、飛竜まつり
6 月	チャレンジ to インクルーシブ
7 月	プチイベント(七夕)、友愛のさとまつり、浜北合同スポーツ大会
8 月	防災訓練(地震・火事想定)、大掃除
9 月	ダダ納涼会、ループ交流会
10 月	ループ日帰り旅行、プチイベント (ハロウィン)
11 月	浜名協働センターまつり、聖灯祭、ふれあい広場
12 月	法人クリスマス会、大掃除、クリスマスマーケット、スマイルフェスタ
1 月	おもちを作ろう
2 月	プチイベント(節分)、お菓子作り
3 月	ちょっとリッチなランチ、おしごと体験、ループ保護者会、防災訓練 (水害想定)

Ⅳ 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	19,337,371 円	18,000,000 円	107.4%
喫茶事業	6,288,452 円	6,000,000 円	104.8%
下請事業	2,367,084 円	2,000,000 円	118.4%
合計	27,992,907 円	26,000,000 円	107.7%

2 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
5 年度	8,114,305 円	30,526 円	242,923 円	30,365 円
6 年度	8,134,522 円	30,933 円	0 円	0 円

V 利用者状況

事業		就労移行			就労継続支援 B 型			ループ計		
月別	稼働日	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4月	22	0	0.0	0.0%	521	23.7	98.7%	521	23.7	78.9%
5月	23	0	0.0	0.0%	492	21.4	89.1%	492	21.4	71.3%
6月	21	0	0.0	0.0%	472	22.5	102.2%	472	22.5	74.9%
7月	23	0	0.0	0.0%	501	21.8	90.8%	501	21.8	72.6%
8月	21	0	0.0	0.0%	431	20.5	85.5%	431	20.5	68.4%
9月	21	0	0.0	0.0%	465	22.1	92.3%	465	22.1	73.8%
10月	23	0	0.0	0.0%	521	22.7	94.4%	521	22.7	75.5%
11月	22	0	0.0	0.0%	458	22.8	86.7%	458	20.8	69.4%
12月	21	0	0.0	0.0%	459	21.9	91.1%	459	21.9	72.9%
1月	21	0	0.0	0.0%	460	21.9	91.3%	460	21.9	73.0%
2月	20	0	0.0	0.0%	455	22.8	94.8%	455	22.8	75.8%
3月	21	0	0.0	0.0%	488	23.2	96.8%	488	23.2	77.5%
合計	259	0	0	0.0%	5,723	22.1	92.1%	5,7	22.1	73.7%

● 多機能事業所ループ奏

I 総括

生産活動の面では、下請けの作業を多くいただくことができ、働く日々・時間がとても多い一年でした。

今年度より新しいチャレンジにも取り組みました。利用者みなさんも楽しんで取り組める仕事を増やすことができたのと同時に、地域の企業にループ奏を広めていけた年となりました。

外出の機会も多く、花博や海に行くなどと、今年も季節を肌で感じることができました。また、運動会やクリスマス会、元気ライブなど地域の他事業所みなさんとの交流の機会も増えました。

前年度に引き続き、多方面から見学や実習、空き状況の問い合わせのご連絡をいただきました。ご要望に応えることが難しいこともあります。出来るだけニーズに応えていきたいと思っております。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

- ・職員会議の時間の充実として、パートを含め、奏の職員での会議の時間を設け、様々な日頃の活動に関する意見交換を行いました。また意見の中で奏の全職員が統一して取り組む目標を設定し、毎月様々な取り組みを行うという「月間チャレンジ」を取り入れ行いました。毎月統一して取り組める目標を可視化して啓示をすることにより意識の統一につながっていききました。
- ・るるるとらら間の行き来を増やし、お互いの存在を受け入れやすい環境を整えました。就労継続支援B型と生活介護という事業の違いはありますが、奏という建物で一緒に活動している「チーム」としてお互いの存在を受け入れ合えるよう今後とも共に活動に取り組んでいきたいと思っています。

生活介護（るるる）

今年度も「作業の時間」「オフの時間」と時間を分け、活動を提供しました。オフの時間を楽しみに、仕事を頑張る、という一日の中でもメリハリをもって活動に取り組める利用者もいました。

課外活動として花見や初詣など季節の行事も積極的に取り入れ、制作物を玄関に掲示し、四季を味わいながら一年を過ごしました。掲示物は利用者の方々にも好評で、ご家族や来所されたお客様からも「玄関から明るくて雰囲気がいいですね」など素敵な言葉を多くかけていただきました。

コミュニケーションの取り方についての考え方を改め、お一人お一人との職員のかかわり方を見直し、職員全員で共有をしました。個別支援計画やモニタリングの時などを通じ、各御家庭の皆様とも連絡を大切にし、協同していきながら、支援を継続していきたいと思っています。

就労継続支援B型（ららら）

生産活動の中で、利用者同士でよい人間関係を築き、昨年度よりも随所で協力や声掛けをしながら作業を行ったりしていました。チームワークが構築されており、新たな一面を発見する機会が生まれました。

新しい活動も始まり、外出をする機会も増え、活動範囲も広がりました。初めての作業に戸惑う方もいらっしゃれば、「やってみたい」とすぐ行動できる方もいて、様々な仕事を通して出来ることや苦手なことなど、新たな発見もたくさんありました。

天竜高校の購買販売では、活動方法を変え、職員の負担を大幅に減らす方法を取りました。地域貢献としての一環とし、利用者の活動を今後どのように取入れていけるといいのか課題として考え、取り組んでいきたいと思っています。

III 行事、防災訓練実施等

4月	外出（小國神社）
5月	外出（花博） カラオケ
6月	カラオケ

7月	外出（海を見に行き、その後ガストでランチ）
8月	大掃除 映画鑑賞 カラオケ
9月	奏ミニ祭り
10月	ハロウィンパーティー ふれあいコンサート
11月	ふれあい広場 カラオケ 元気ライブ 避難訓練
12月	クリスマス会 外食
1月	初詣 ボッチャ・ペタボード大会
2月	豆まき お菓子作り 日帰り旅行
3月	避難訓練

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,300,964	1,500,000	86.7%
天竜高校購買部	665,065	2,200,000	30.2%
ウエルフェアマート	164,864	50,000	329.7%
合計	2,130,893	3,700,000	57.6%

※天竜高校購買部の売り上げの減少は、校内自動販売機管理契約の契約内容の変更に伴うもの

2 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
4年度	1,405,561 円	8,518 円	277,620 円	2,103 円
5年度	1,367,989 円	13,571 円	309,225 円	2,656 円
6年度	1,394,846 円	13,464 円	467,560 円	3,542 円

V 利用者状況

事業		ららら（定員 10）			るるる（定員 10）			ループ奏 計（定員 20）		
月別	稼働日	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率 ※定員比
4月	22	200	9.1	90.9%	201	9.1	91.4%	401	18	91.9%
5月	22	189	8.6	85.9%	191	8.7	86.8%	380	17.2	86.3%
6月	21	193	9.2	91.9%	191	9.1	91.0%	384	18.2	91.4%
7月	23	194	8.4	84.3%	202	8.8	87.8%	396	17.2	86.0%
8月	20	149	7.5	74.5%	166	8.3	83.0%	315	15.8	78.8%
9月	22	189	8.6	85.9%	194	8.8	88.2%	383	17.4	87.0%
10月	23	201	8.7	87.4%	209	9.1	90.9%	410	17.8	89.1%
11月	22	189	8.6	85.9%	205	9.3	93.2%	394	17.9	89.5%
12月	21	165	7.9	78.6%	180	8.6	85.7%	345	16.4	82.1%
1月	21	190	9.0	90.5%	196	9.3	93.3%	386	18.4	91.9%
2月	21	188	9.0	89.5%	188	8.5	85.2%	367	17.5	87.4%
3月	21	189	9.0	90.0%	193	9.2	91.9%	382	18.2	91.0%
合計	259	2,236	8.6	86.3%	2,316	8.9	89.1%	4543	18.9	87.9%

● 生活介護事業所さつき

I 総括

12月に事業所内で発生したコロナ感染拡大による影響がありながら、年間通して多くの利用者に安定した通所を続けていただきました。以前利用された方からもう一度利用したいと希望があり受け入れ対応することもありました。

支援の面では、13名の利用者が行動関連項目10点以上とより配慮を必要とする中、限られた環境でも工夫して支援を行い一定の成果は見られました。それでも想定通りにいかないことも多いため、事例検討会を積極的に行い、他機関等に協力を仰ぎました。作業に関しては、おからクッキーは近隣の店舗や高校販売で安定した売り上げがあり、目標を達成することができました。法人内で取り組みが始まっているウェルフェアマーケット事業をさつきも開始し、商品仕入れと納品等はたらく場面の新たな可能性を見出していきます。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

利用者支援については、支援者全員で毎日のご家族との連絡ノート内容や支援に関する留意事項等を共有し支援を行いました。そうすることで職員同士が声を掛け合い事故や怪我につながる状況を未然に防ぐことにつながった部分もありました。必要に応じて浜北障がい者相談支援センターと事例検討会を開催し、センター職員や他法人の職員に助言を求めました。

地域とのつながりについては、12月に行われた地域防災訓練に参加し、障害者週間の啓発活動として訓練に参加していた方々におからクッキーを配布しました。

家族同士のつながりについては、コロナ渦以降に利用を開始したご家族も増えたため、保護者交流会を2回開催しました。

作業活動については、利用者にとって作業内容や1日の動きを知る手段になっているホワイトボードをよりわかりやすく伝わるように工夫しました。視覚的な情報が行動につながる利用者には個別に作業内容な作業量を伝えることで作業意欲を引き出すことに努めました。

生活支援については、送迎の引き渡し時や連絡ノートを活用してご自宅での様子を職員間で共有漏れないようにしています。体重が増える傾向にある利用者が多いことから、日課に体操など体を動かすメニューを取り入れています。体操の内容はふれあいコンサートという発表の機会でも披露しています。また、必要に応じて受診同行や買い物支援も行っています。

III 行事、防災訓練実施等

4月	お花見、保護者会、フルーツパーク
5月	小國神社&掛川花鳥園
6月	お散歩&お茶会
7月	浜北合同スポーツ大会、ゆうあいの里まつり、七夕
8月	浜名湖遊覧船&ランチ、ボウリング、さつき de 夏祭り
9月	保護者交流会
10月	ふれあいレクリエーション大会、ふれあいコンサート、天竜厚生会まつり
11月	照個屋、防災訓練、元気ライブ
12月	地域防災、ヤマハチャリティーミュージカル、クリスマス会、お疲れ様会カラオケ
1月	小國神社初詣
2月	節分、下阿多古イベント
3月	日帰り旅行（ホテルバイキング&名古屋港水族館）

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請	1,113,248 円	1,100,000 円	101.2%
おからクッキー	1,308,809 円	1,300,000 円	100.6%
合計	2,422,057 円	1,400,000 円	100.9%

2 工賃支払実績

	工賃支払総額	平均月額
5 年度	1,254,419 円	5,017 円
6 年度	1,254,265 円	4,997 円

V 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	22	21	21	23	21	22	23	22	22	21	20	21	259
延利用者数(実績)	435	414	399	435	399	403	426	406	391	414	391	417	4930
1 日平均利用者数	19.8	19.7	19.0	18.9	19.0	18.3	18.5	18.5	17.8	19.7	19.6	19.9	19.0
稼働率(%)	99.0	98.5	95.0	94.5	95.0	91.5	92.5	92.5	89.0	98.5	98.0	99.5	95.0

● 生活介護事業所まつぼっくり

I 総括

この一年、まつぼっくりの将来を思い描きながら施設整備事業について少しずつ進めてきました。今後はより具体的に形にしていく動きになっていきます。また、小規模作業所まつぼっくりの家開所当時からずっと利用されていたろう重複の利用者が2名まつぼっくりを退所されました。それぞれの事情は違いますが、その方にとっての最善の道とご本人の想いも擦り合わせながら悩みながらの決断もありました。支援者として、寂しさもありましたが、現在、別の場所での元気な様子を見ることができ、この決断が誤りではなかった、良かったのだという納得できる支援ができたと感じています。新しい利用者も増えました、がろう重複の障がい特性に応じた支援の質は変わらず担保し続けていくこと、利用者の確保に力を入れていきたいと考えています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

作業活動においては、まつぼっくりと同じようにパンを作っている事業所を見学し他ご縁で、パン作りの基礎を教えていただくことができました。また実際にまつぼっくりでのパン作りの様子も見いただくことで自分たちがやってきたことに改めて自信を持つこともできました。パンのメニューについては、3 ヶ月に一回新メニューを開発し、お客様の反応も上々で売上を伸ばすことができました。新規販売先開拓はアプローチがまだまだ足りないと感じています。

利用者支援においては、コミュニケーションを常に大事にしてきました。また職員間のコミュニケーションも密にとっていくことで、統一した支援にあたることができましたと感じています。毎日、利用者の自由な発言、想いが発信されていました。今後もその一人一人の想いを受け止めて支援にあたっていきます。

地域とのつながりにおいては廃品回収、わだちを配布しながらの散歩の際に顔見知りの近所の方から暖かいお声をかけていただくこともあり、この繋がりを引き続き大切にしていきたいと考えています。

III 行事、防災訓練実施等

4月	外出(なないろカフェでランチ)、まつぼっくりカフェ、カラオケ
5月	保護者会、外出(フラワーパーク)、飛竜まつり
6月	ヤマハ発動機労働組合お祭り、廃品回収&パン安売りデー
7月	浜北合同スポーツ交流会、友愛のさとまつり
8月	夏祭り、大掃除&お疲れ様会
9月	まつぼっくりカフェ、外出(なごみかぜ工房見学)、廃品回収&パン安売りデー
10月	西部ふれあいレクリエーション、労福協まつり、ふれあいコンサート
11月	浜北ふれあい広場、北浜南部協働センターまつり、健康診断、避難訓練
12月	ヤマハミュージカル、廃品回収&パン安売りデー、法人クリスマス会、大掃除&お疲れ様会
1月	新年会、書き初め、初詣
2月	節分、まつぼっくりカフェ、下あたごふれあいセンターまつり
3月	日帰り旅行、水害避難訓練、まつぼっくりカフェ、廃品回収&パン安売りデー、表彰大会

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
パン・クッキー	6,901,700 円	6,700,000 円	103%
その他	3,260 円	5,000 円	65.2%
合計	6,904,960 円	6,705,000 円	103%

2 工賃支払実績

	工賃支払総額	平均月額
5 年度	2,080,741 円	17,170 円
6 年度	2,080,139 円	17,871 円

※平均工賃額は、平均利用者数より算出

V 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	22	22	21	23	20	21	23	22	23	20	20	22	259
延利用者数	220	195	190	232	184	213	226	221	229	200	196	218	2,524
1 日平均	10.0	8.9	9.0	10.1	9.2	10.1	9.8	10.0	10.0	10.0	9.8	9.9	9.7
稼働率(%)	50.0	44.3	45.2	50.4	46.0	50.7	49.1	50.2	49.8	50.0	49.0	46.5	48.7

● 放課後等デイサービス あざみ

I 総括

令和 6 年の報酬改定の影響を受け前年度に比べ大幅な減収となったばかりか、昨秋から冬にかけて、体調不良による利用者数の減少で稼働率の低下と大変厳しい年度となってしまいました。一方、日々の業務において、職員は子ども一人ひとりの状況を振り返り、より良い支援ができるように努め、毎日の振り返りミーティングに加え、支援者会議の実施を通じて具体的な情報共有を行い、常勤・非常勤職員を問わず、支援の統一性を高める取り組みに努力してきました。今後においても、チームワークと支援の質の向上を図っていくことに努めたいと思います。また一部ではありますが、古木の伐採と剪定を行い子どもたちの安心安全のための環境整備を実施しました。今後の課題として、強度行動障がい児対応、収益性向上のために IT 化の推進を図るとともに、子どもの健康管理のための感染予防対策を含めた安全計画の確実な履行に常勤、非常勤皆で努めていきたいと思っています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

子どもたちが待つことの大切さを学び、順番や時間の管理能力を向上させるため、タイマーを活用した支援を行いました。アラームの活用により、子どもたちは時間の意識を持ち、他者との調和を図る姿勢を育みました。また、立ち位置表示を導入することで、整列の習慣を身につけ、集団行動のルールを自然と学ぶ機会となりました。今後も根気よく継続していきたいと思っています。

その他、保護者間のつながりを強めるため、「交流カフェ」を開催しました。期待した以上に保護者同士が自主的に交流し、悩み相談や支援情報を共有する場を提供できたと思います。

また、重点目標としてきた5領域を踏まえた支援プログラムを作成し、個々の子どもに沿った支援に取り組むとともに、強度行動障がいついての研修会に3名の職員が参加するなど支援の充実を目指してきましたが、十分な成果が得られるところまでは至りませんでした。今後、更なる専門的な研修を受ける職員の育成をしながら、個別支援を実施するとともに、環境調整やコミュニケーション支援を通じて、子どもたちが安心して過ごせる場を提供していきたいと思います。また、兄弟支援にも力を入れ、障がいを持つ子どもの兄弟姉妹が適切な理解を深め、心理的な負担を軽減できるような機会を設け、兄弟姉妹が交流し、共に成長できる場を提供することで、家族全体の安心した生活に寄与できるようにしていきたいと思います。

Ⅲ 行事、防災訓練実施等

	行事	創作
4月	始まりの会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	こいのぼり
6月	なし	壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり 水族館作り	七夕飾り
8月	カフェでかき氷・外出体験（小国神社）・夏祭り・出張駄菓子屋さん	夏祭り飾り
9月	なし	
10月	ハロウィン	ハロウィン衣装 お面
11月	焼き芋会	壁面飾りもみじ クリスマス飾り
12月	クリスマス会 交流カフェ	クリスマス飾り
1月	初詣	壁面飾り 鬼
2月	豆まき	ひな祭り顔はめパネル ひな人形
3月 毎月	ひな祭り 卒業生を送る会 頑張りましたの会 焼き芋会 避難訓練	壁面飾り さくら

Ⅳ 利用者状況

1 月別利用者数（定員 10 名 登録者 16 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	25	27	22	25	27	26	24	23	24	25	300
延利用者数(実績)	245	250	236	237	198	221	200	199	185	236	206	220	2633
1日平均利用者数	9.4	9.6	9.4	8.8	9.0	8.8	7.4	7.7	7.7	10.3	8.6	8.8	8.7
稼働率(%)	94.2	96.2	94.4	87.8	90.0	88.4	74.1	76.5	77.1	102.6	85.8	88.0	87.8

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	42	50	49	49	54	56	300
年間利用者延人(人)	398	491	466	435	530	313	2633
平均利用者数(人)	9.5	9.8	9.5	8.8	9.8	5.6	8.8

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	7名	0名
小学4年～6年	2名	0名
中学生	3名	0名
高校生	3名	0名

● 日中一時支援事業 あるば

I 総括

浜松市の地域生活支援事業として委託を受け、放課後等デイサービスおよび日中一時支援事業を一体的に運営し、日中一時支援では、保護者のレスパイトを支援し、柔軟な利用環境を整えました。また、放課後等デイサービスと連携し、受給者証の支給決定日数を超える支援が必要となった場合には、柔軟に対応できる体制を整えることで、各家庭のニーズに沿った支援をしてきました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

当初の事業計画を踏まえ、職員間で情報を共有し、支援の統一を図るために毎日の振り返りを行いながら、あざみとの一体化した支援のもと、子どもたちが安心して活動できる環境の確保に努めるとともに、その日の子どもの状態に応じて、園庭での動的な集団遊び（鬼ごっこ、ボール遊び）、や室内での静的な個別活動（ブロック、ぬり絵）を取り入れることで、心身のバランスを整える支援を行いました。

重点目標としていた子どもたちの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを尊重し、子どもたちが表現する楽しさや達成感を実感できるよう支援してきました。活動を通じて、言葉や身体の動きによる自己表現を促し、個々のペースで気持ちを伝える力を育むことに努めるとともに、がんばっていることや良いところを

褒めることを意識的に取り組み、言葉がけが必要な場面では伝え方に配慮し、その後気持ちが不安定にならないように支援してきました。

Ⅲ 行事、防災訓練実施等

行事や防災訓練の実施は、放課後等デイサービスあざみと一体的に行っているため、あざみ参照。
(P23)

Ⅳ 利用者状況

1 月別利用者数 (定員 7 名 登録者数 15 名)

(定員 7)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	26	26	25	27	22	25	27	26	24	23	24	25	300
延利用者数	92	105	103	96	71	82	95	84	66	79	86	80	1039
1 日平均	3.5	4.0	4.1	3.6	3.2	3.3	3.5	3.2	2.8	3.4	3.6	3.2	3.4
稼働率 (%)	50.5	57.7	58.9	50.8	46.1	46.9	50.3	46.2	39.3	49.1	51.2	45.7	49.4

2 サービス併用状況

あるばのみ利用	5 名	固定した曜日に利用
あざみ・あるば併用	5 名	あざみ主、支給超え時あるば利用
あざみ・あるば・他放デイ利用	0 名	あざみ月～土、日曜他放デイ利用
他の放デイを主に利用	4 名	他放デイ休日に利用(土、祝)

● はまきた地域活動支援センター

I 総括

昨年度に引き続き午前・午後の二部構成で実施。平均参加人数は午前は 5 名と少人数でゆったりと。午後は 10 名で盛り上がる様子でした。定期的に地活の見学や利用に繋がるケースが多かったです。幅広いプログラム内容や、なないろカフェの落ち着いた雰囲気、利便性が良いという声を聞きました。プログラムをメインで参加する人もいますが、その場で会った人と仲良くなり、お話をするために来所する姿がよく見られました。ミーティングの時間を設けて、はまきた地活の過ごし方やプログラムの要望など、利用者が自発的に意見を交わすことができた実感しております。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

午前の活動

少人数の参加を強みに変え、これから福祉サービスに繋がっていく方が主に参加され、まずは安心感を得られる、ご本人にとって通いやすい場所になるようにしていきました。段階を踏んでいく中、地活で「何をしたいか」、「どうしていききたいか」等をヒヤリングし、より掘り下げ、ご本人の考えや気持ちを一緒に整理していくようにしました。通所して生活リズムが整い、やってみたかったボランティア活動に取り組む方や、行事を通して自信がつき始め、就労に関係する施設見学や体験も通して、ステップアップに繋がる方もいました。

午後の活動

活動中に「もしもボックス（ご意見箱）」の設置を試みました。ミーティングをする時間はありますが、その場だと言えない、言いづらい人の気持ちを取りこぼさないような工夫としました。実際にいただいた意見をプログラムに反映させると喜び、次は直接意見が伝えることができた方もいました。ボランティアは学生がメインで参加していただきました。大学側へ定期的にプログラムを送り告知し続けることの必要性を実感。ボランティアも「また参加したい。」と感じてもらえる、アプローチ方法も考案するきっかけとなりました。

III 行事、防災訓練実施等

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
青春クラブ カラオケ 音楽鑑賞会 ゲーム会等	いっぶく、 昼下がりのいっぶく 青春クラブ つうしん配布	パソコン教室 スイーツメモリー 3分クッキング	新規及び現在の利用者に関する関係機関との連絡調整	朗読カフェ 昼下がりのいっぶく メイク体験 パソコン教室 ちくちくクラブ	厚生連看護専門学校での当事者発表
外出 イベント等	4月 テイクアウトランチ会 5月 飛竜まつり 6月 きき〇〇チャレンジ 7月 ボーリング大会 8月 さまーふぃーりんぐ 9月 かたらーな 10月 ハロウィンパーティ 11月 焼き芋大会 12月 みどりの樹クリスマス会 1月 初詣 2月 節分 3月 ランチの時間だ！				

IV 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	263	240	204	225	142	205	217	176	195	187	200	191
磐田市	5	7	7	12	12	13	10	8	13	15	15	9
合計	268	247	211	237	154	218	227	184	208	202	215	200
1日平均	12.7	11.7	10.5	10.7	9.6	10.9	9.8	9.2	10.9	10.6	11.3	8.6

● 特定相談支援事業所 ぼるた

I 総括

令和6年度は相談員1名減により、実績も減少となった1年でした。しかし地域からの計画相談のニーズは変わりなく、ほぼ毎月相談が入る状態でした。特に困難ケースといわれるケースも今年度は多かったと思います。事業所のその時々状況により、お断りせざるを得ないケースもありましたが、地域生活支援拠点の登録をしたことで困難ケースも数件受けさせていただきました。また、今年度から開設された天竜障がい者相談支援センターから紹介をいただくケースも多くありました。山間部までの移動には時間がかかりますが、地域ニーズになるべく応えていくことができるように今後もできる限り努力をしていきたいです。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

利用者それぞれの事情を鑑みながら支援を進めていきました。特に大きな生活の変化がある方、変化ができそうな方への支援は慎重に、ご本人の意向になるべく沿う形となるように、事業所内で都度報告をしながら意見交換を重ねていきました。

令和6年度開始当初に相談センターキャンパスと一体的管理運営を行うことを目指して準備を進めていましたが、根拠項目を満たさず、結果的に加算要件としての一体的管理運営はできませんでした。それでも、相談センターキャンパスとの週に1回の定例会議を開催する等、相談員の質の向上のための取り組みを行い、今後に向けての実績を重ねてきました。特に困難ケースの相談や社会資源の共有ができたことは、相談員のスキルアップや社会情勢を知る機会となり、非常に有意義なものでした。各委託センターに出向している相談員も月に1回定例会議に参加し、情報交換を行うことができました。

自立支援協議会、相談支援専門員連絡会へも例年通り参画をし、エリアの相談支援事業所の相談員と横のつながりを図るとともに、事例検討会への参加、情報共有を積極的に行いました。

III 利用状況

1 実施人数と計画内容

実人数 171 人

※参考 令和5年度 171 人
令和4年度 158 人
令和3年度 140 人)

利用事業	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練	宿泊型自立訓練	共同生活援助	生活介護	居宅介護	同行援助	療養介護	施設入所	短期入所	利用契約のみ	合計
R6	32	49	15	8	4	1	20	31	26	1	0	2	50	2	241
R5	33	47	11	6	4	1	16	29	32	2	1	1		2	233

※実施人数と計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため。

※短期入所は令和6年度より集計。

2 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	2	1	0	2	0	1	1	3	1	2	2	5	20
モニタリング数	49	47	52	45	34	52	45	43	52	51	51	45	566
更新	22	10	16	13	13	13	14	15	12	10	13	14	165

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし